



▲都市デザイン研究室（本郷）・空間計画研究室（柏）集合写真：4月13日（火）、2010年度第1回研究室会議において

## 続：春の到来、新たな風

Spring has come! Welcome to our lab.

## —柏キャンパス新 M1 の紹介—

—New students in Kashiwa—

text\_sakuraba

120号に引き続き、今号は本郷キャンパス都市デザイン研究室とともにプロジェクトに取り組む柏キャンパス空間計画研究室の新 M1 を紹介します。5名が加わり、今年も元気に始動！

The issue continues to the 120st issue, and introduces the new 5 students who are belonging to Spatial Planning & Design Lab. in Kashiwa Campus that goes at the project with Urban Design Lab.

### 大野 泰嗣



OHNO Hiroshi

- ①岐阜県美濃加茂市／神戸大学工学部建築学科
- ②体を動かすこと・鯨がにぎれる
- ③飛騨高山：親戚が住んでおり、昔はよく行った。  
シエナ：大学の授業で調べて、よかった。
- ④不言実行
- ⑤修士に進むにあたり、本当に自分がやりたい事は何か考えた。
- ⑥心をオープンにして、何事にも積極的に挑戦したい。

### 中村 尚志



NAKAMURA Takashi

- ①千葉県浦安市／日本大学理工学部建築学科
- ②水泳、筋トレ、日本泳法、船の操縦、作詞作曲、ニコニコ動画
- ③好きな場所—アーバンドックららぽーと豊洲：綺麗な夕日が見られる貴重な場所だから  
行ってみたいまち—サンマリノ：侵略から身を守ってきた小国の伝統と誇りを感じたいから
- ④上の上には上がいる
- ⑤画一的でない伝統と個性を重視したまちづくりと、第3の場としての新しい地域コミュニティの可能性への関心。
- ⑥本気です。ここで出会える多くの人達と切磋琢磨しながら自分の士気を高めていきたいです。それと同時にくだらないことでも語り合える友人関係も築いていきたいです。

### 尾瀬 敦裕



OSE Atsuhiko

- ①京都府／福井大学工学部建築建設工学科
- ②サッカー観戦、買い物
- ③好きなまち—京都、横浜、金沢／行ってみたいまち—インド、フィリピン、ラオス（先進国とは違う良さがありそう）
- ④何事も冷静に淡々と
- ⑤先輩からの情報、UDC シリーズなど大学院で自分のやりたいことができそうな研究室だったから
- ⑥様々な活動に参加し、人との出会いや、そこから得られたものを大切にしていきたい。

### 三浦 詩乃



MIURA Shino

- ①長崎県／東京大学工学部社会基盤学科
- ②剣道初段
- ③好きな場所—銀山温泉：この春、雪景色で美しいときに研究室メンバーと旅行。思い出たくさんある場所。  
行ってみたい場所—京都：寺社にも少し興味があって、絶対いくべき場所なのに縁がなくてまだいけてないから。
- ④やるときはやる。Let it be
- ⑤表向きは、新しい場所で研究室に留まらず、積極的にまちにはいりこんだプロジェクトに参加したかったから。また、環境問題に興味があるから。
- ⑥仲間をたくさんつくる！積極的に動く。

### 木口 彩



KIGUCHI Sai

- ①横浜／横浜国立大学工学部建設学科
- ②建築散歩、旅行
- ③システルノ、オストゥニ（イタリア）：卒制中に本で見すぎて惹かれました
- ④強くしなやかに
- ⑤北沢先生の講演会
- ⑥積極的に色々なことにチャレンジしたいです！

氏名

写真

- ①出身地／出身校
- ②趣味・特技
- ③好きなまち・場所、行ってみたいまちとその理由
- ④座右の銘・モットー
- ⑤空間計画研究室に来た動機
- ⑥大学院生活への意気込み

## 連載企画

# 留学生コーナー第7弾!

An essay by international student vol.7

多国籍な都市デザイン研の特徴を生かし、長年住んでいると気付かない日本の都市の姿を留学生の新鮮な目で伝えます。今号は中国北京出身の李蕃さんです。

## Cat's Street -My Favourite Town in Tokyo, Nezu-

M1 Li Fan

Nezu is filled with cats. There are cat cafes, cat-themed galleries and craft shops, and most importantly----many cats living between street blocks. Whenever I'm passing through these streets, I confront cats along the road, by the window or in the greenery. It might not be a random choice of living here for them. And as I have always believed, they might be even more sensible of living condition rather than human beings. In Nezu, cats find place to hide themselves well for a sound sleep, to chase or even fight with each other, to carry a stretch under the sun and to shade themselves back to a corner to observe passers-by.

These subtle requirements actually meet some of the criteria for a good street block established by Jane Jacobs: continuous, permeable, secured streets with rich spatial experiences.

But if you want to follow a cat in the street blocks in old Beijing in similar case, you might have to keep walking on the walls and roofs there. Such places in Beijing are built based on the unit of courtyards----ones that are well enclosed to leave only its doors and walls to passers-by. So I have to admit that it is always fascinating to walk around in a place like Nezu, to always get to experience small changes and always discover the new.



▲北京の伝統商業地、四合院の様子



▲根津の猫グッズ販売店の店先の三猿ならぬ三猫

## プロジェクト報告

# 春! プロジェクト始動!

Spring is the season that projects start!

新メンバーを迎え、それぞれのプロジェクトも本格的に動き出しました。先陣を切った東京は浅草、そして広島は鞆より活動をお伝えします。

## 浅草 ASAKUSA-project プロジェクト

M2 熊谷 俊一



▲真剣に作業に取り組む参加者の方々



▲浅草PJメンバーも日曜大工に挑戦

去る4月17日(日)、浅草プロジェクトの一環である木工教室イベントが、地元奥浅草地区にて開催されました。東大浅草PJメンバーにて企画されたイベントであり、対象エリアに密集する木材問屋の方々に、材木の調達や技術支援の面で協力していただき、材木加工による棚やプランターの作成を楽しむイベントとなりました。当日は地元の住民・子供たちが中心に集まり、東大からの3名の学生と共に、懐かしさと奥深さを感じる日曜大工体験を通じて、地域の交流を育むことが出来ました。

材木問屋というこの地域独特の存在を活かしたまちづくりを仕掛けている東大メンバーにとって、まちづくりの第一歩を踏み出した非常に意義深い一日でした。

## 鞆 TOMO-project プロジェクト

D1 ウィチエンプラディト  
・ボンサン



▲常夜燈を背景にPJメンバー勢揃い



▲早速現地でポストイトトーク

4月18日から20日にかけて新生鞆プロジェクトチームが訪鞆。今回の訪問・調査には今年度から参加する5名の新メンバー(都市工学専攻:高見、西村、安川、山重;建築学専攻:内藤)が参加し、地元でお世話になっていた方々に挨拶、昨年度までのプロジェクト内容を踏まえたまち歩きをした後、2005年度に一度実施した空家調査の現況アップデート、伝建地区内の道路における交通量調査といった、これからの活動に必要な基礎的な調査を行った。

判決が出た昨年の秋から急激に観光客が増えているという地元の方の話を目の当たりにした。茶屋蔵の有効活用、空家のセミナーハウスの転用実験と並んで、押し寄せてきた観光の波にどのようなまちづくりのあり方で応えていくのが我々のチームにとって大きな課題であることが感じられた。

## Information

5月の予定

5月14日 2010年度第2回研究室会議@8階会議室

## 編集後記

櫻庭 敬子

4月も残りわずか。桜前線も秋田くらいまで北上し、私たちの心もそろそろ春ブンから脱皮した頃でしょうか。個人的には、修士生活も半分が過ぎ、でもここで落ち着かず、花粉にも負けず、今年もアクティブにせっせと手足を動かしていきたいなと思っています。